つづくを、つなぐ。

資料3

令和８年度
第１回　柏市健康福祉審議会健康増進専門分科会

日時：令和８年９月３日（木）
午後２時から４時まで
会場：ウェルネス柏４階　研修室

柏市
KASHIWA CITY

１　分科会の概要

２　報告

第２次柏市健康増進計画の進捗状況及び評価と課題

３　議題

働く世代への健康づくりに関するアプローチについて

健康増進専門分科会の概要

つづくを、つなぐ。

柏市第六次総合計画

整合

柏市地域健康福祉計画

【他分野】

- その他生活関連分野の計画・指針
- 柏市男女共同参画推進計画
- 柏市地域防災計画
- 柏市スポーツ推進計画

【健康福祉分野】

- 柏市高齢者いきいきプラン21（老人福祉計画・介護保険事業計画）
- ノーマライゼーションかしわプラン（柏市障害者基本計画・柏市障害福祉計画・柏市障害児福祉計画）
- 柏市子ども・子育て支援事業計画
- 柏市母子保健計画
- 柏市国民健康保険保健事業実施計画
- 柏市自殺対策計画
- **柏市健康増進計画**
  - 柏市食育推進計画

整合

- 健康日本21（第三次）
- 健康ちば21（第3次）

進捗管理

柏市健康福祉審議会

- 民生委員審査専門分科会
- 障害者健康福祉専門分科会,
- 障害者健康福祉専門分科会審査部会
- 児童健康福祉専門分科会
- 高齢者健康福祉専門分科会
- 地域健康福祉専門分科会
- 市立病院事業検討専門分科会

・健康増進専門分科会

健康づくり業務庁内連絡会

市民生活部	スポーツ課
健康医療部	健康政策課
	高齢者支援課
	地域包括支援課
	健康増進課
	地域医療推進課
	総務企画課
	保健予防課
福祉部	福祉政策課
こども部	子育て支援課
	保育運営課
	母子保健課
環境部	環境サービス課
経済産業部	農政課
都市部	公園緑地課
土木部	交通政策課
教育総務部	学校給食課
生涯学習部	中央公民館
	生涯学習課
学校教育部	学校教育課
	指導課
	児童生徒課

柏市 KASHIWA CITY

健康増進専門分科会での検討事項

柏市健康福祉審議会条例

「健康増進に関する事項を調査審議すること」

- 柏市健康増進計画の評価および進捗管理
- 健康づくりのための健康情報の共有・検討
- 地域保健と職域保健の連携・推進　　など

【参考】令和７年度柏市保健衛生審議会健康増進部会での意見

●進捗管理の在り方	• 結果（アウトカム）だけでなく，プロセス評価が不可欠 • 成果の背景にある工夫・成功要因を把握し，次年度改善に活かすべき （例：フレイル予防料理教室参加者が3倍に増加した要因） • 健康格差・セグメント別対応・支援が届かない層へのアプローチは全国的課題であり，柏市でも重点的に取り組むべき領域
●スポーツ・フレイル予防の課題	• 高齢者の参加は増加，若者・女性の参加が課題 • ライフステージ・ジェンダー別の評価指標が必要 • フレイル予防は「運動」だけでなく，生活を楽しむ手段としての位置づけが重要 • 参加に消極的な層へのアプローチが必要
●がん検診の受診率の課題	• 母親の病気は子どもの不安・不登校につながるケースもあり • 子育て世代への重点的な啓発が必要 • 他施策（プレコンセプションケア等）との連携が重要
●不登校支援と健康分野の連携	• 不登校児童生徒が増加，「誰一人取り残さない支援」は理想だが教育現場は多忙 • 学校の問題を地域全体の課題として捉える必要 • 健康分野も教育委員会と連携すべき

●職域連携の課題	• 小規模事業者が多く，健康づくりが後回しになりがち • 個別企業よりも業界団体単位でのアプローチが有効 • 働く女性の健康支援は出生率にも関わる重要課題
●健康アプリ「ワニFit」の波及効果	• インストール支援を通じて健康相談につながるケース多数 • どの事業がワニFitを活用しているか見える化すると普及が進む • 「ワニFit協賛団体」などブランド化の提案
●妊娠期の喫煙対策	• 学校での出張講座での周知 • 家族の喫煙も含めた包括的支援が必要
●医師会・薬剤師会の役割	• 医療はすべての年齢層の健康増進に関与 • かかりつけ医制度の変化により，総合的なコーディネート能力が求められる • 医師会・薬剤師会も地域連携を強化する必要性を認識

つづくを、つなぐ。

１　分科会の概要

２　**報告**

第２次柏市健康増進計画の進捗状況及び評価と課題

３　議題

働く世代への健康づくりに関するアプローチについて

第２次柏市健康増進計画について

つづくを、つなぐ。

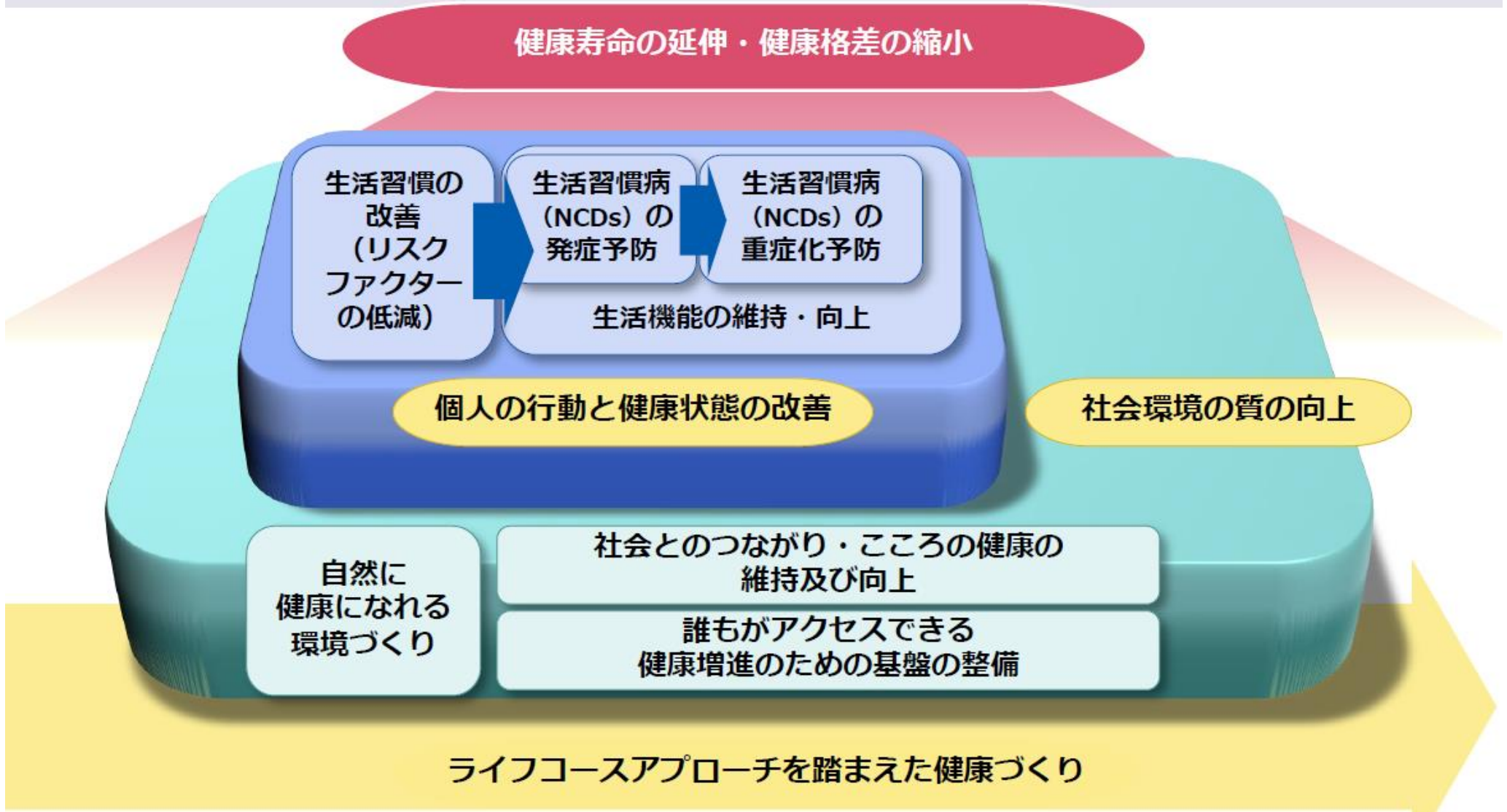
◆計画策定の経過

年度	柏市	国
Ｈ１２年度		健康日本２１
Ｈ２５年度	**第１次柏市健康増進計画策定**	健康日本２１（第２次）
Ｈ２９年度	第１次柏市健康増進計画　中間評価	
Ｒ５年度	第１次柏市健康増進計画　最終評価実施	
Ｒ６年度	**第２次柏市健康増進計画・柏市食育推進計画策定**	健康日本２１（第３次）

令和７年度～　「第２次柏市健康増進計画」の推進にむけた周知，取り組み評価および進捗管理

健康日本21（第三次）の概念図

全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現のために、以下に示す方向性で健康づくりを進める



第２次計画の方針

つづくを、つなぐ。

第１次計画の課題

1. 青壮年期（20～64歳）の生活習慣の改善
2. 子育て中の女性の健康に対する関心・取組の充実
3. 地域による健康意識や行動，生活習慣の差の解消

第２次計画の策定

基本理念

柏にかかわるすべての人が，健やかで心豊かに暮らせるまちを目指します

～一人ひとりが主役になれる，未来へつながる健康づくりの実践へ～

基本目標

1. **健康寿命の延伸**
「健康上の問題で日常生活を制限されることなく生活できる期間」をできる限り伸ばします
2. **生活の質（クオリティ・オブ・ライフ）（ＱＯＬ）の向上**
「主観的健康観」「生活満足度」「幸福度」を向上します

基本方針

1. こどもの頃からの健康づくり
2. 多様性に配慮した健康づくり
3. 楽しく，無理なく続ける健康づくり
4. 柏にかかわるみんなで取り組む健康づくり



重点分野

1	栄養・食生活	食事は楽しく，バランスよく
2	身体活動・運動	今より少しからだを動かそう
3	睡眠・休養・こころの健康	ぐっすり寝よう，ストレスとうまくつき合おう
4	飲酒・喫煙	飲み過ぎない，吸わない
5	歯と口の健康	いつまでも自分の歯で「かんで」「しゃべって」「笑おう」
6	発症予防・健診・重症化予防（糖尿病・循環器病・がん）	ふだんからセルフチェック，定期的に健診を受けよう
7	女性の健康	自分のからだとこころの変化に向き合う

柏市 KASHIWA CITY

ライフコースに沿った取り組み(例：栄養・食生活)

つづくを、つなぐ。

取組	0～19歳 乳幼児期・学童期・思春期	20～64歳 青壮年期	65歳以上 高齢期
市民	●一日三食，主食・主菜・副菜を意識した食生活に努めましょう ●みんなと楽しく，食事をしましょう ●食事の時に，栄養バランスの大切さや工夫について話しましょう		
	●朝食を必ずとることで生活リズムを作り，栄養バランスのとれた食事をしましょう ●給食を通じて，バランスの良い食事内容を知り，食育を通じて食生活に関心をもちましょう ●食品を選択する力を育みましょう	●自分の適正体重を知り，定期的に体重を測りましょう ●自分に合った食事量・食品の選択をできるようになりましょう ●減塩の工夫を知り，減塩を意識した食生活を送りましょう ●積極的に共食の機会をつくり，孤食を減らしましょう ●家族や身近な人の食生活にも関心を向けましょう ●アプリ等のデジタルツールの活用を周囲に勧めましょう	
		●朝食を工夫しながらとりましょう ●食事管理アプリを活用して，食事摂取状況や栄養状態を把握しましょう	●フレイルを予防する食生活を知り，バランスの良い食事の選択をしましょう ●フレイルについて話題にしましょう
市・関係機関	●保育園・幼稚園・学校等での給食を通じて健康教育や食育を推進することにより，子どもの時から食べることへの興味・関心を広げ，子どもを起点として，家庭の食生活への波及・実践につなげ，家族単位での健康意識の向上を図ります。 ●家庭での食事だけでなく，中食，外食の切り口でも健康への意識が高められるように，民間企業や配食サービス事業者，医療関係団体，栄養職能団体との連携を推進し，多様な仕掛けを検討します。 ●市内の飲食店や給食施設の「栄養成分表示」や「健康に配慮したメニュー」の取組を推進します。 ●食事管理アプリやデバイス等のICTの利活用により，データの分析，食生活の効果発信について，産学官連携で取り組みます。		

重点分野別の令和７年度評価と課題

重点分野	Ｒ７年度評価	課題
１　栄養・食生活	• フレイル予防事業や給食施設指導，商業施設やイベントでの啓発等で，市民の栄養改善に向けた取り組みが広く展開され，**参加者の心身の変化への気づきや予防行動の定着へつなげることができた**。 • 給食施設・学校・保育園・母子保健など，**ライフステージを通じた食育が継続**されている。 • 栄養・健康づくりを担う関係団体に対する**研修や啓発の質が向上**している。	• 野菜摂取や栄養バランス改善など，行動変容の定着は引き続きアプローチが必要であり，**普及啓発の継続**や**野菜を食べよう柏協力店の周知強化**が必要 • **若年層・家庭へのアプローチ強化** • 給食施設の栄養管理や栄養士配置の改善 • 地産地消や学校食育では，地域全体での共有や底上げが必要
２　身体活動・運動	• 地域のスポーツチームや地域包括支援センター，健康づくり推進員等，**多様な主体との連携が進み，事業の幅が拡大，市民の参加機会が増えた。** • 健康アプリ「ワニFit」の活用が始まり，**ウォークラリー等運動に関する周知の多様化**が進んだ。 • 学校体育・部活動支援など，**子どもの運動機会創出が体系的に強化**されている。	• 支援対象者や関心が高い層・低い層等，**幅広い層が参加できるよう，様々な機会をとらえたアプローチの実施** • ボランティアの高齢化による人材不足解消のため，**若い人材の確保** • より多くの市民の運動習慣定着に向け，**運動施設を利用しやすいよう制度の見直し，健康アプリや健康遊具等健康ツールの周知推進**

重点分野	Ｒ７年度評価	課題
３　睡眠・休養・こころの健康	• 訪問や健診等の機会に，**妊産婦の不安や育児ストレスを早期に把握**し，関係機関等との連携を通じ，**適切な支援につなげている。** • 地域子育て支援拠点では，**リピートの利用者が多く，さらに拠点を市内に新規整備している。** • 心のサポーター養成研修を実施する等，**相談しやすい地域環境づくりが進展**している。 • 教育支援センターは，**不登校児童生徒に安心できる居場所として機能**し、家庭訪問事業も支援につながる重要な機会となっている。	• 産前産後のメンタルヘルスに関する情報の**普及啓発の強化** • **不安や育児ストレスを抱える妊産婦を把握した際に早期支援を行う為，課内及び他機関との連携強化** • メンタルヘルスの問題を抱える妊産婦への支援や転入が多い地域の支援漏れ防止に向け，**育児相談のリスクアセスメントや緊急対応等対応する職員のスキルアップ** • **民間事業所との協働による普及啓発の深化，読み聞かせボランティアの確保，複雑化する相談への専門職との連携強化** • こころの健康だけではなく，**睡眠・休養に関する普及啓発の実施**

重点分野	Ｒ７年度評価	課題
4　飲酒・喫煙	• 妊婦・未成年者など特定層への重点支援が機能し，**対面での直接的な教育が複数事業で実施**されている。 • 啓発におけるポスターやチラシ配布で，医療機関や学校等**関係機関との連携が進んでいる**。 • **受動喫煙・路上喫煙対策も巡回や調査を含め継続的に実施**できている。	• 飲酒の相談では，相談者が限局されており，**相談体制整備の工夫や支援者・理解者を増やしていくための働きかけが必要** • 喫煙・受動喫煙に関する市民の知識や意識向上のための**啓発資料及び機会の確保** • 法改正に基づく**受動喫煙対策の適正運用の周知・指導の実施**
5　歯と口の健康	• むし歯予防対策として，**フッ化物洗口の実施園数が5園から41園へ増加**。小学校でもモデル校2校で開始するなど，健康格差の縮小に向けた取組を推進した。 • 公式SNSや各種イベントでの情報発信，地域での健康教育を実施し，**歯科受診や口腔ケアへの理解を深めた**。 • フレイル予防事業の参加者数が増加した。フレイルチェック等を通じた早期把握・継続支援により，**予防行動の定着につながった**。 • 歯科衛生士の訪問により，**対象者の約9割が歯科治療につながった**。また，口腔ケアや摂食嚥下支援，健康教育を通じて，**セルフケアや支援者の対応力向上につながった**。	• 小学校以降における**フッ化物洗口の効率的・継続的な運用体制の確立**。 • ライフステージに応じた**効果的なセルフケア（補助用具・フッ化物配合歯みがき剤等）の普及啓発の強化**。 • 歯周病検診を契機とした，**かかりつけ歯科医の定着と定期的な歯科健（検）診の受診促進。** • フレイルチェックを起点とした，**支援対象者の早期把握・継続支援体制の強化。** • 多職種との連携による，**介護予防における歯科の役割の普及啓発の推進。**

重点分野	Ｒ７年度評価	課題
６ 発症予防・健診・重症化予防	• 若い世代からの予防施策（予防接種・プレコンセプションケア）が強化された。 • 健診は制度改善・AI活用・無料化などにより受診しやすい環境が整備された。 • 重症化予防は，多職種連携や受診勧奨により一定の成果（受診率向上）が出ている。	• 将来の健康リスク低減に向けた早期介入のため，若年層への生活習慣病予防や健診受診の啓発を実施 • 健診の「不定期受診者」や「未受診者」への継続的アプローチ • 重症化予防プログラムの必要性の理解を促進し，参加率向上を図る • 地域・職域連携における新規利用事業所の拡大
７ 女性の健康	• 制度改善や無料クーポンによりがん検診の受診率が向上した。また，骨健康度測定器の導入により，骨粗しょう症に関する啓発機会が増加した。 • プレコンセプションケアの事業開始後４日で定員100名の申請があり，市民の関心は想定より高いことがうかがえた。	• プレコンセプションケアの24歳以下の申請者は６％と少なく，子宮頸がん検診と合わせ，より若い世代へのアプローチ強化 • がん検診受診の習慣化に向けた継続的な支援 • 骨粗しょう症に関する正しい知識の普及啓発及び検査後のフォロー体制の充実 • ライフステージに応じた包括的セクシュアリティ教育の実施

１　分科会の概要

２　報告

第２次柏市健康増進計画の進捗状況及び評価と課題

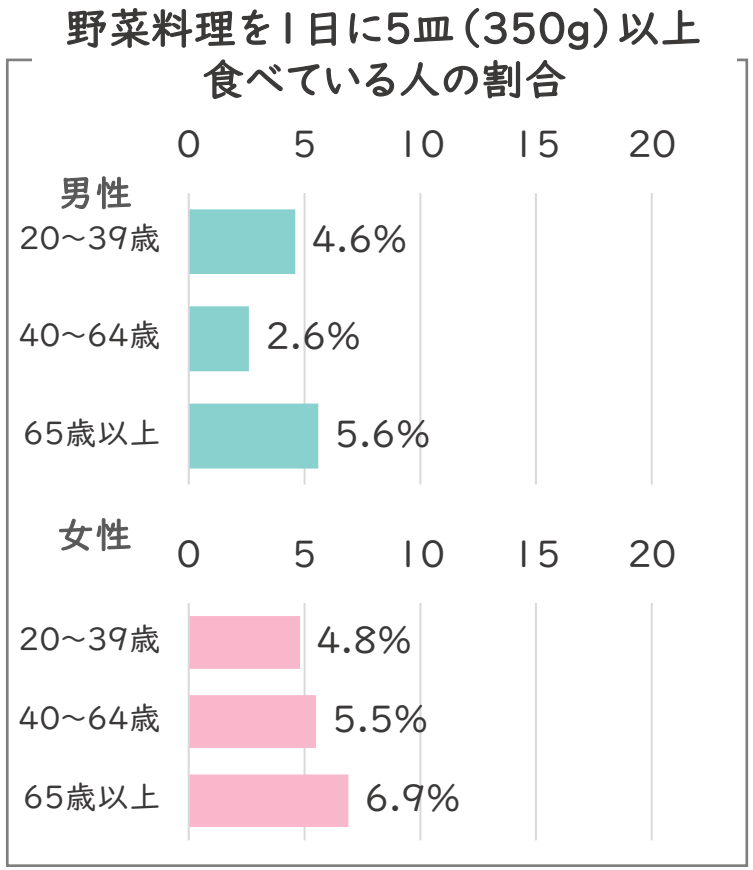
３　議題

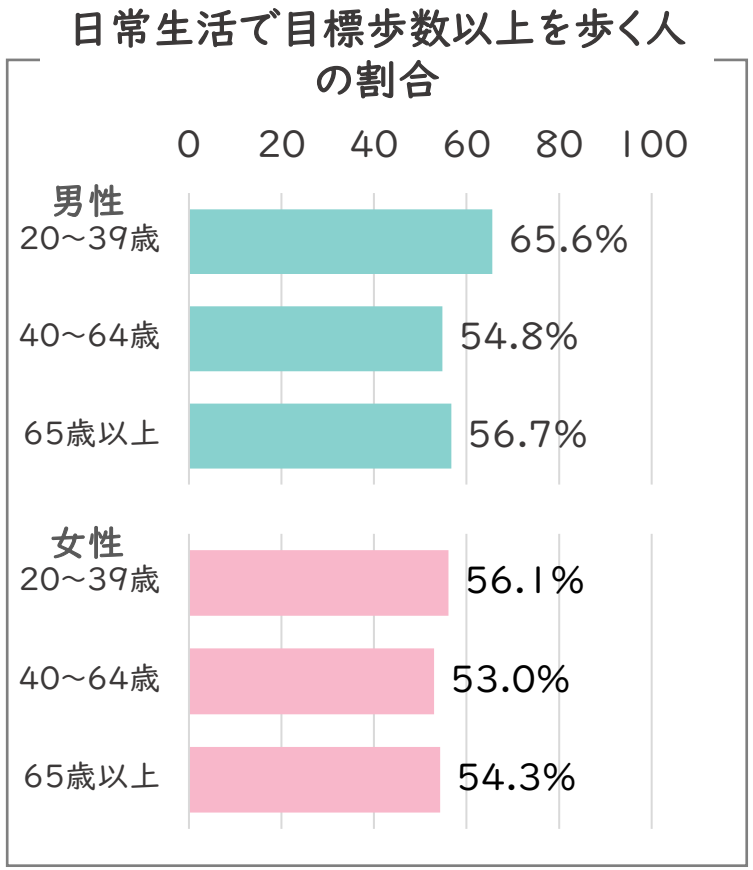
働く世代への健康づくりに関するアプローチについて

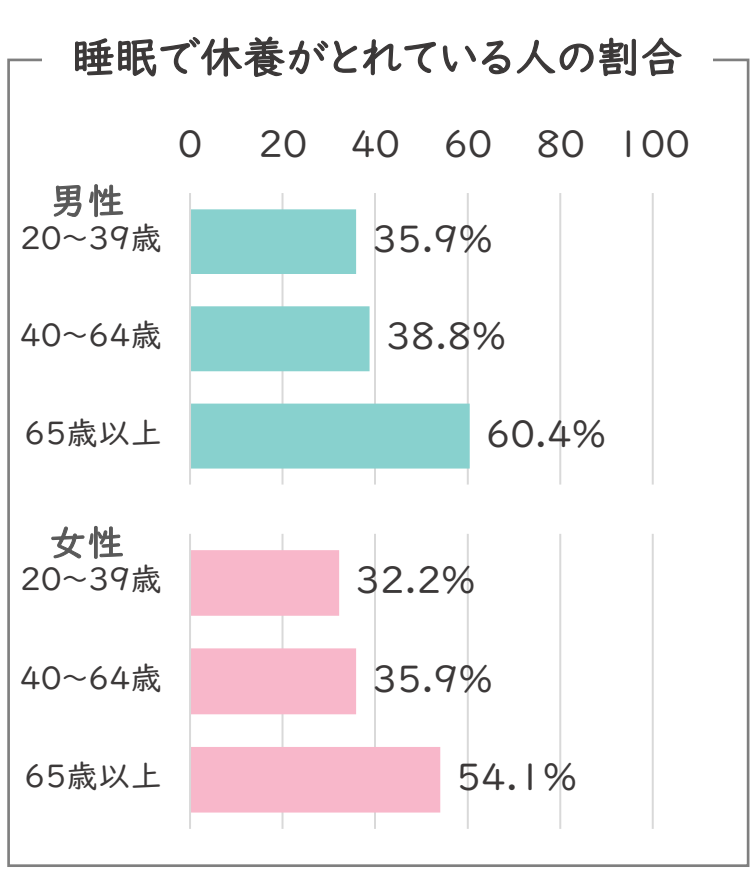
働く世代への健康づくりに関するデータと課題について

第１次計画の課題	
	1. 青壮年期（20～64歳）の生活習慣の改善
	2. 子育て中の女性の健康に対する関心・取組の充実
	3. 地域による健康意識や行動，生活習慣の差の解消

【柏市の現状値】※令和６年柏市民健康意識・生活実態調査より





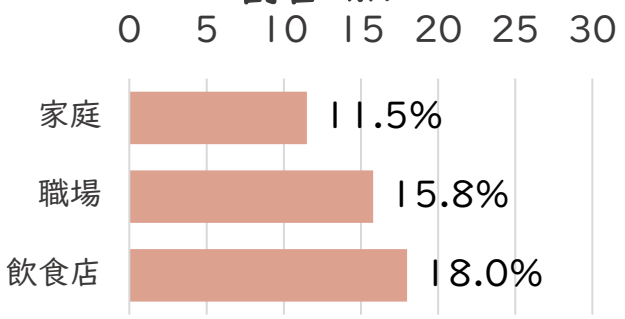


【柏市の現状値】

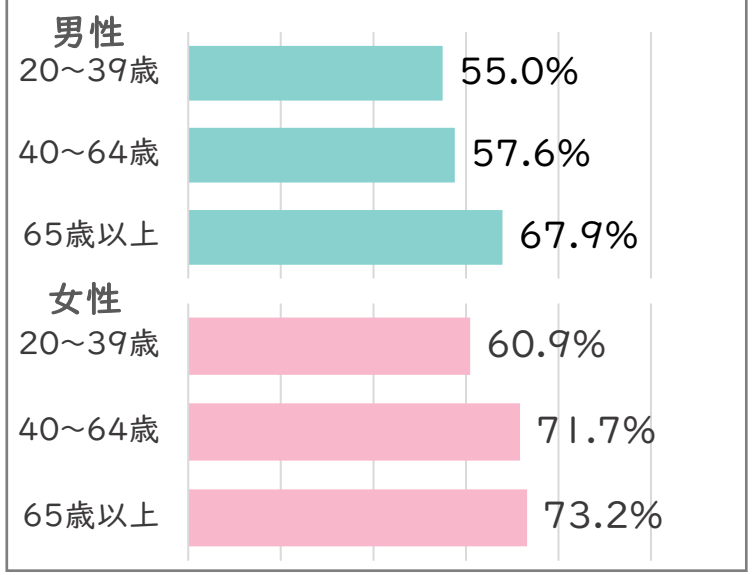
※１令和６年柏市民健康意識・生活実態調査より
※２国民健康保険データより

つづくを、つなぐ。

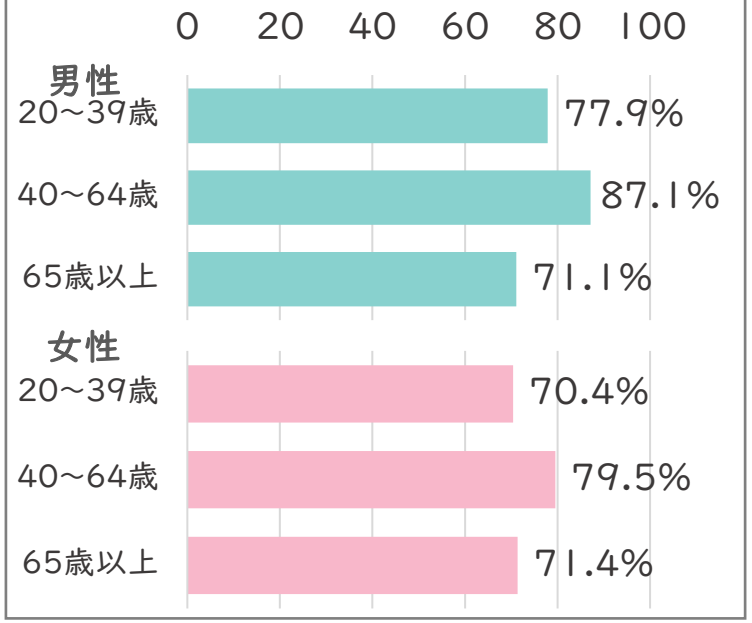
受動喫煙の機会があった人の割合 ※1



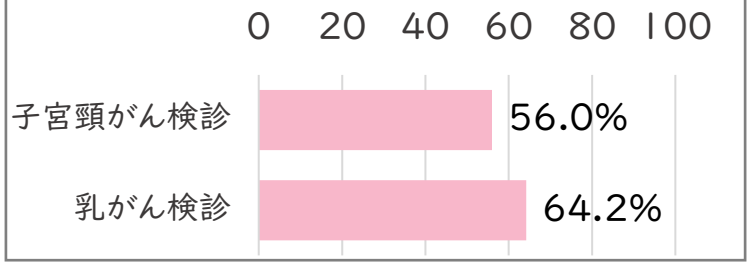
過去1年間に歯科健診を受診した人の割合 ※1



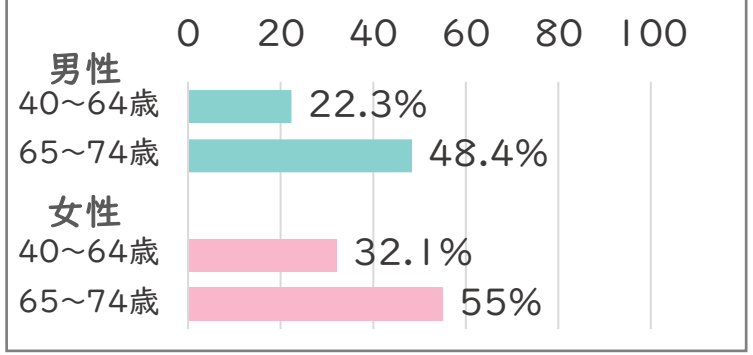
過去1年間に健診等を受診した人の割合 ※1



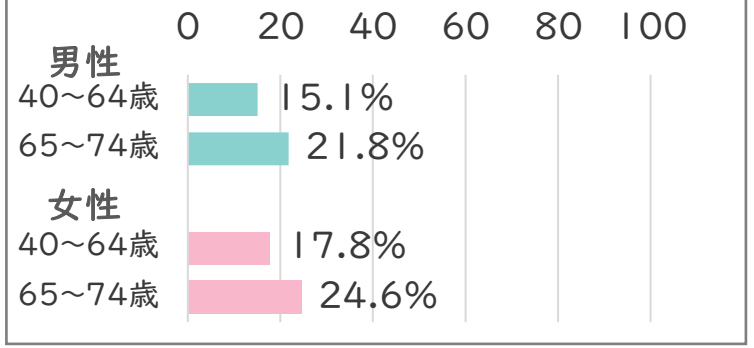
女性特有のがん検診の受診率 ※1



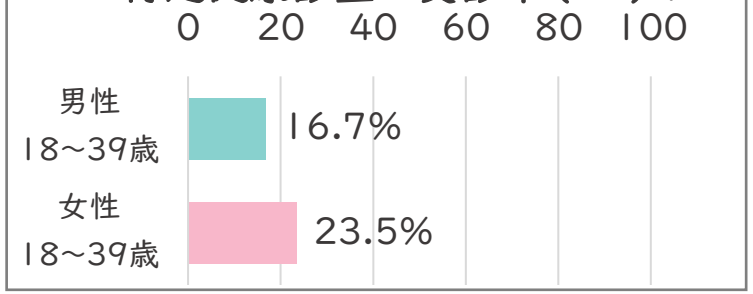
特定健康診査の受診率（R6） ※2



特定保健指導の実施率（R6） ※2



プレ特定健康診査の受診率（R7） ※2



柏市 KASHIWA CITY

柏市の働く世代への健康増進に向けたアプローチについて

柏市の令和７年度までの取り組み

地　域

- 出前講座の実施
  （５団体　５回）
- 健康教育教材の貸出
  （３１団体　５７回）
- 柏市民健康づくり推進員活動
  （健康講座や健康啓発の実施）

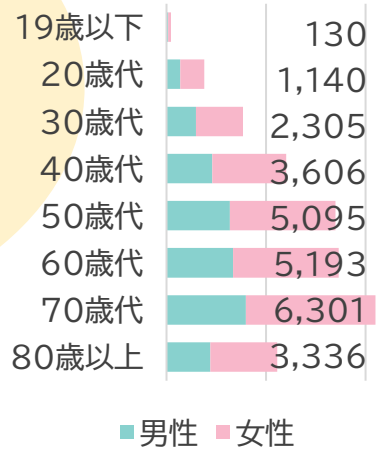
職　域

- 企業向け健康教育
  （２社２団体　４回）
- 健康教材の貸出
  （１社　３回）
- 健康啓発メールの送付
  （６２社　１１回）

個　人

- 各種検診（がん・骨粗しょう症・歯周病）
- 特定健康診査・プレ特定健康診査（柏市国民健康保険加入者）
- ワニFitの登録・活用

【参考】ワニFit登録者数
R8.6末時点
計27, 501人



問題点

▲ 啓発の場が固定化し，働く世代へのアプローチする場が少ない

▲ 柏市民健康づくり推進員の減少

▲ 市のサポートは，既存利用事業所が中心で，新規利用が少ない

▲ 中小企業事業所の経営層へのアプローチができていない

▲ 検（健）診により案内発送時期が異なり，書類紛失，受診スケジュールが立てづらい

▲ ワニFitの登録者が少ない

令和８年度の取り組みの方向性

地　域

- 他課・関係機関が開催するイベントでの啓発機会を確保し，今までとは異なるフィールドでの啓発機会確保（三歳児健診・歯科医師会主催イベント・イオンフレイル予防イベント・スポーツドリームかしわ等）
- 推進員の委嘱条件変更（年齢制限引き上げ，定数範囲の拡大等）

職　域

- 包括連携協定事業所と協力し，健康啓発や市のサポートに関するチラシを配布
- 商工会議所の部会等，経営者が集まる場を活用し，職場の健康づくりの必要性や市や国の取り組みの周知啓発

個　人

- 受診のしやすさ向上や対象医療機関の明確化に向け，検（健）診案内の「一括発送」の準備
- 包括連携協定事業所と協力し，健診やがん検診に関する啓発及びアンケートの実施
- ワニFitの活用促進

働く世代に向けた庁内の取り組み

健康増進課	• ウォーキング推進事業（ワニFitⅠ） • たばこ対策推進事業 • 受動喫煙対策推進事業 • 予防接種事業 • がん検診事業 • 歯周病検診事業 • 骨粗しょう症検査 • 保健事業利用費助成事業（運動事業） • 特定健康診査 • プレ特定健康診査 • 特定保健指導 • 糖尿病性腎症重症化予防プログラム • 重症化予防事業 • 地域・職域連携推進事業 • 柏市民健康づくり推進員活動
総務企画課	• 給食施設指導事業 • 栄養改善事業
母子保健課	• 母子保健食育 • プレコンセプションケア推進事業
保育運営課	• 柏市立保育園における食育
農政課	• 地産地消推進事業
スポーツ課	• 各種スポーツ教室の開催 • スポーツ推進委員活動 • 学校体育施設の開放事業
公園緑地課	• 健康遊具の利用促進
交通政策課	• シェアサイクル事業
保健予防課	• こころの健康に関する普及啓発 • こころの健康相談 • アルコール健康障害対策事業
生涯学習課 中央公民館	• 生涯学習推進事業の地域展開 • 生涯学習事業自主活動 • 地域活動支援講座